



伊東一成議員



## 災害対応について

公共施設における非常用発電の整備状況は。

**問** 「市長」市役所本庁舎は、停電に備えて非常用発電設備を設置しているほか、防災行政無線設備用の据置き型発電機と一般コンセント用として使用する可搬型発電機を整備している。また、市民ふれあいセンターにも非常用発電設備を設置しており、生涯学習センターには、太陽光発電設備と蓄電池により非常時の電力を確保している。なお、野榮総合支所には非常用発電設備を設置していないので、非常灯等に内蔵されたバッテリーと可搬型の発電機により対応することとしている。



市役所敷地内設置の非常用発電設備

**問** 手押しポンプや防災用ベンチを整備している。

**答** 「市長」市では大規模な災害が発生し水道の給水が停止した場合に、避難所等における生活用水を確保するため、手押しポンプ式の防災井戸を28か所設置している。防災用ベンチは、各避難所に簡易コンロや非常用トイレを整備していることから設置していない。

## 脱炭素先行地域について

**問** （環境省が募集する）第4回脱炭素先行地域の申請に向けての対策について伺う。

**答** 「市長」国の脱炭素先行地域評価委員会からは、第3回応募に係る本市の提案について、一定の評価をいただいた。私を委員長とする匠瑛市脱炭素先行地域計画提案書策定委員会を5月30日に設置し、全庁体制で計画提案書の策定を進めている。今後もゼロカーボンシティの実現を図るため、脱炭素先行地域の選定に向け、全庁一丸となって取り組んでいきたい。

## 人事評価制度について

**問** 人事評価の実施方法及び結果の活用方法について伺う。

**答** 「総務課長」人事評価では、当該職員と一次評価者による期首面談と評価後の期末面談の2回にわたる直接の話し合いの場を通じて、お互いの認識と理解を図ることとしている。評価結果につきましては、管理職の職員については能力評価及び業績評価の結果を基に総合評価を行い、その結果を翌年度の勤勉手当へ反映させている。



椎名勝英議員  
(日本共産党)



## マイナンバーカードについて

**問** これまでマイナンバーカード（以下「カード」という。）の申請は任意だったが、今回の法改正で保険証をひも付けることで強制的に申請させようとしている。

しかし、個人情報漏えいの心配から、カードの申請を控えている人が少なからずいる。全国的にはコンビニで別人の証明書が発行されるなどの問題が起きている。個人情報保護委員会の報告では、過去5年間に3万5,000人の情報が漏えいしたと明らかにしている。

保険証のひも付け問題だが、現在、保険証は個人の申請ではなく、市の責任で個人に交付されている。今後、カードを申請しなかった人は、本人が保険証、資格確認書の申請をしなければ手に入らない。申請しない場合は、無保険者になるおそれがある。

カードを申請しない人の保険証申請漏れを防ぐためにどのように考えているか。さらに、保険証、資格確認書の有効期限は1年である。1年ごとの更新漏れによる無保険者の発生に対して、どのように考えているか。

**答** 「市長」国は経過措置として当面の間、保険者が職権で資格確認書を交付することを想定している。市としては、資格確認書の更新漏れがないように、定期更新の申請がなくても自

宅に届くように取り組むとともに、カードの普及促進にも努めていく。

**問** カードを持たない人の保険証の定期更新について、申請がなくても自宅に届くよう取り組むとのこと。必ず実行していただきたい。市民からカードを返納したいという相談がある。返納に必要な手続きは。

**答** 「市民課長」カード返納届に記入し提出していただく。代理人の場合は、本人からの委任状と代理人の顔写真入り身分証明書が必要になる。

**問** この間に起きているトラブルが解決するまで、保険証のひも付けは延期すべきと考えるが、いかがか。  
**答** 「市民課長」カードは国の施策であるので、市としては国の動向を注視していきたい。

